2 教育普及活動

2-1 講座・ワークショップなど

シンポジウム、対談、講座等

企画展や美術館に関わるシンポジウムや外部講師を招いての対談、講演会

日時	タイトル	講師	関連事業	人数（定員）
5/17（土） 13:30〜15:00	ニュー銀座堂「みんなではなそう！」	平山亮太（作家） 渡邉百恵（ニュー銀座堂代表） 以下、参加作家 ipei、カワセマコ、Mana Umezawa、宮本奏詩、新井謙成、白岩敬悟、junya、Gabi、新藤さくら	AiM Vol.17 ニュー銀座堂	33 （30）
5/25（日） 13:30〜15:00	美術講座「『美人画』の流れと培広庵コレクション」	青山訓子（学芸課長）	培広庵コレクション 美人画の雪月花	38 （170）
6/8（日） 13:30〜15:00	美術講座「美人画鑑賞のポイント女性風俗、文化を見る」	青山訓子（学芸課長）	培広庵コレクション 美人画の雪月花	55 （170）
10/25（土） 13:30〜15:00	美術講座「仏像の内部の秘密」	守屋靖裕（担当学芸員）	古墳時代から織部、そして現代へ ー土岐市美濃陶磁歴史館の名品と土岐市の寺社の文化財ー	18 （170）
11/24（月・休） 14:00〜15:00	アーティストトーク 「まねしてみせる　模写から創造へ」	向井大祐（作家）	AiM Vol.18 向井大祐	43 （30）
11/29（土） 13:30〜15:00	記念講演会「国立工芸館の工芸とは」	唐澤昌宏（国立工芸館館長）	大正・昭和‘モード’の源泉 国立美術館 コレクション・ダイアローグ	46 （170）
1/17（土） 13:30〜15:00	美術講座「大正・昭和のロマンティック・モダンーファッションと文化」	齋藤智愛（担当学芸員）	大正・昭和‘モード’の源泉 国立美術館 コレクション・ダイアローグ	49 （170）
2/7（土） 13:30〜15:00	美術講座「大正ロマンとモダン：金工の不思議な魅力を探る」	正村美里（副館長兼学芸部長）	大正・昭和‘モード’の源泉 国立美術館 コレクション・ダイアローグ	35 （170）
2/15（日） 13:30〜14:30	コレクション・ダイアローグ開催記念 クロストーク 「美術館・博物館ってナンヤローネ?」	可児光生（美濃加茂市民ミュージアム館長） 大谷省吾（国立アートリサーチセンター作品活用促進グループリーダー、東京国立近代美術館副館長） 日比野克彦（館長）	大正・昭和‘モード’の源泉 国立美術館 コレクション・ダイアローグ	107 （ー）
3/1（日） 14:00〜15:30	美術講座「ガリ版からシルクスクリーンに続く物語」	鳥羽都子（担当学芸員）	グラフィックデザインの曙 ー加藤孝司とシルクスクリーン	45 （170）
3/14（土） 11:00〜12:00	《Alt-Bias Gun》の実演1	長谷川愛（作家）	ーモンスーンに吹かれたようにー 大移動と交流のアフリカ-アジアの現代美術	21 （ー）
3/14（土） 13:00〜16:00	アーティストトーク	長谷川愛（作家） 吉國元（作家） マフディ・エシャーエイ（作家） なみちえ（作家） 天野太郎（東京オペラシティ アートギャラリー チーフキュレーター）	ーモンスーンに吹かれたようにー 大移動と交流のアフリカ-アジアの現代美術	27 （170）



▲6月8日 美術講座「美人画鑑賞のポイント 女性風俗、文化を見る」



▲2月15日 コレクション・ダイアローグ開催記念
クロストーク「美術館・博物館ってナンヤローネ?」

作品鑑賞会

展覧会場で担当学芸員や関係者が行う作品解説、ギャラリートーク

日時	タイトル	講師	関連展	人数（定員）
4/26(土) 14:00〜	ギャラリートーク	培広庵(コレクター)	培広庵コレクション 美人画の雪月花	60 (ー)
4/29(火・祝) 15:00〜17:00	アートまるケット 「つながる!日比野克彦×ルドン×岐阜」	日比野克彦(館長)	アートまるケット　脳はダマせても ⇆身体はダマされない＃05	83 (ー)
5/16(金) 18:30〜19:00	宵の口鑑賞会	青山訓子(学芸課長)	培広庵コレクション 美人画の雪月花	32 (ー)
8/30(土) 14:00〜14:45	ギャラリートーク	守屋靖裕(担当学芸員)	古墳時代から織部、そして現代へ ー土岐市美濃陶磁歴史館の名品と 土岐市の寺社の文化財ー	15 (ー)
9/19(金) 18:30〜19:15	ギャラリートーク	守屋靖裕(担当学芸員)	古墳時代から織部、そして現代へ ー土岐市美濃陶磁歴史館の名品と 土岐市の寺社の文化財ー	17 (ー)
10/12(日) 14:00〜14:45	ギャラリートーク	守屋靖裕(担当学芸員)	古墳時代から織部、そして現代へ ー土岐市美濃陶磁歴史館の名品と 土岐市の寺社の文化財ー	18 (ー)
11/21(金) 18:00〜18:45	夜間開館ギャラリートーク	齋藤智愛(担当学芸員)	大正・昭和'モード'の源泉 国立美術館 コレクション・ダイアローグ	16 (ー)
12/13(土) 14:00〜15:00	ギャラリートーク「加藤孝司とシルクス クリーンの魅力」	加藤由朗(デザイナー)	グラフィックデザインの曙 ー加藤孝司とシルクスクリーン	34 (ー)
12/19(金) 18:30〜19:30	ナイトギャラリートーク	鳥羽都子(担当学芸員)	グラフィックデザインの曙 ー加藤孝司とシルクスクリーン	12 (ー)
1/16(金) 18:00〜18:45	夜間開館ギャラリートーク	齋藤智愛(担当学芸員)	大正・昭和'モード'の源泉 国立美術館 コレクション・ダイアローグ	16 (ー)

日時	タイトル	講師	関連展	人数（定員）
1/24（土） 14:00〜14:45	ギャラリートーク	齋藤智愛（担当学芸員）	大正・昭和‘モード’の源泉 国立美術館コレクション・ダイアローグ	41 （ー）
1/31（土） 14:00〜15:00	ギャラリートーク	鳥羽都子（担当学芸員）	グラフィックデザインの曙 ー加藤孝司とシルクスクリーン	30 （ー）
3/13（金） 13:00〜16:00	ギャラリートーク	長谷川愛（作家） 吉國元（作家） マフディ・エシャーエイ（作家） なみちえ（作家） 天野太郎（東京オペラシティ アートギャラリー チーフキュレーター）	ーモンスーンに吹かれたようにー 大移動と交流のアフリカ-アジアの現代美術	45 （ー）
3/20（金・祝） 14:00〜15:00	ギャラリートーク	西山恒彦（担当学芸員）	ーモンスーンに吹かれたようにー 大移動と交流のアフリカ-アジアの現代美術	32 （ー）

体験型企画など

日時	タイトル	講師	会場	内容	人数（定員）
4/27（日） 14:00〜15:00	AiM Vol.17 関連プログラム 「みんなでワークショップ」	渡邉百恵（ニュー銀座堂代表）と参加作家ら	アトリエ 庭園	来場者とニュー銀座堂メンバーがその場で今からやってみたいことをみんなで考え、即興で実行にうつした。	17 （5）
5/3（土・祝） 15:00〜16:00	AiM Vol.17 関連プログラム 「yama no kageライブパフォーマンス」	yama no kage （成瀬寛多、齋藤達希、妹尾亮太、深見悠太）	アトリエ	事前に収音した素材（街の音、美術館内の音、生活音など）と即興で詩を創作したものを音読し、セッションした。	36 （20）
5/5（月・祝） 14:00〜15:00	AiM Vol.17 関連プログラム 「みんなでワークショップ」	渡邉百恵（ニュー銀座堂代表）と参加作家ら	アトリエ	来場者とニュー銀座堂メンバーがその場で今からやってみたいことをみんなで考え、即興で実行にうつした。	8 （5）
5/24（土） 14:00〜15:00	AiM Vol.17 関連プログラム 「みんなでワークショップ」	渡邉百恵（ニュー銀座堂代表）と参加作家ら	アトリエ	来場者とニュー銀座堂メンバーがその場で今からやってみたいことをみんなで考え、即興で実行にうつした。	14 （5）
9/6（土） 13:30〜15:00	土岐市美濃陶磁歴史館×岐阜県美術館協同ワークショップ1「織部デザインに触れよう（美濃焼カルタと陶片観察）」	春日美海 （土岐市美濃陶磁歴史館学芸員）	アトリエ	美濃焼カルタと、発掘された陶片（実物）の観察を通して、織部のデザインについて楽しみながら学ぶ体験を行った。	17 （20）
10/4（土） 13:00〜14:00 14:30〜15:30	土岐市美濃陶磁歴史館×岐阜県美術館協同ワークショップ2「金継ぎ風陶片アクセサリー作り体験」	鍋内愛美 （土岐市美濃陶磁歴史館学芸員）	アトリエ	小さな美濃焼の陶片に金や銀の彩色を施し、アクセサリーに仕上げる体験を行った。	37 （各回16）

日時	タイトル	講師	会場	内容	人数（定員）
11/3（月・祝） 13:30〜15:30	ふらっとぱ〜く あんこーる！ 〜ARで作品鑑賞〜	西田創（担当学芸員）	多目的ホール 庭園	スマートフォンやタブレット端末を通して館内や庭園に、3DCGになったたくさんの作品をAR（拡張現実）で楽しむ活動を行った。	40 （ー）
11/15（土） 10:30〜15:30	ワークショップ 「まねしてまなぶ 岐阜県美術館の日本画」	向井大祐（作家）	アトリエ	各務原産の絵絹など、本格的な日本画の画材を使って、川合玉堂の模写に挑戦する活動を行った。	9 （10）
12/6（土） 10:00〜12:00 13:00〜15:00	GIFUワークショップ ギャザリング Vol.11	岐阜大学 中部学院大学	美術館ホール 多目的ホール ロビー スタジオ	「デザート パラダイス」「おもいを つたえよう！！」「のぞいてみよう！〜かがみの世界〜」「みらーらぼ」の体験活動を行った。	418 （ー）
12/7（日） 10:00〜12:00 13:00〜15:00	GIFUワークショップ ギャザリング Vol.11	岐阜聖徳学園大学 東海学院大学短期大学部 名古屋柳城女子大学	美術館ホール 多目的ホール ロビー スタジオ	「デコ★チェンジ！」「スペシャルハンドアート」「キラキラ☆ステンドグラス」「キラキラ！ペーパーキャンドル」の体験活動を行った。	423 （ー）



▲12月6日 GIFUワークショップギャザリング Vol.11



▲12月7日 GIFUワークショップギャザリング Vol.11

ナンヤローネ・プロジェクト

2016年度より開始した展覧会や作品、ワークショップ、鑑賞プログラム、ミュージアムショップなど、館のすべてのものを通して、人と人、アートと人が触れ合える場を創造するプロジェクト。2019年度末から感染症拡大予防措置に努めつつ教育普及事業を見直し「ナンヤローネ アートツアー」「ナンヤローネ アートアクション」をすすめてきた。2022年度からは《Such Such Such》の常設展示を再開し、本プロジェクトの充実を図ってきた。

ナンヤローネ アートアクション

展覧会や作品の技法、色、作家のコンセプト、庭園や展示室そのものなどをテーマに、気軽にアートを楽しむことをねらったワークショップ。すべての人を対象に実施している。

日時	タイトル	会場	概要	関連展	人数（定員）
5/4（日・祝） 13:30〜16:00	絵絹に挑戦	スタジオ 展示室	山本真一（日本画家）を講師に招き、展覧会鑑賞後、日本画の支持体として用いられ、岐阜県各務原市特産である絵絹に美人画を描いた。	培広庵コレクション 美人画の雪月花	17 （16）
7/12（土） 10:00〜12:00 13:30〜15:30	ー心のつながりを結うー組紐	多目的ホール	所鳳弘（染織家）を講師に招き、組紐の製作を行うとともに、日本の伝統文化と国際交流についての見識を深めた。	ー	100 （100）
9/15（月・祝） 10:00〜14:00	じっと見つめる小さな世界	多目的ホール	池田学（作家）をオンラインで講師に招き、極細のペンを用いて、作家作品の細密な描写の模写をする活動を行った。	ふらっとぱ〜く： 見る、触れる、話す、 感じる、考える	20 （20）
11/3（月・祝） 13:30〜15:30	カメラのレンズを通してみたら	多目的ホール	カメラで撮影すると平面に描かれたものが立体的に浮かび上がる現象が起きるよう、描き方を工夫し、表現を楽しむ活動を行った。	ー	119 （ー）
2/1（日） 10:30〜12:00 13:30〜15:00	ぬってコースター 〜私とあなたのダイアローグ〜	多目的ホール	図案をうつし、自分で模様を組み合わせた後に色をぬり、コースターやカードに仕上げる活動を行った。	大正・昭和‘モード’の源泉 国立美術館コレクション・ダイアローグ	71 （ー）



▲5月4日 アートアクション「絵絹に挑戦」



▲9月15日 アートアクション「じっと見つめる小さな世界」

ナンヤローネ アートツアー

美術の知識に頼らない鑑賞プログラム。作品を見て何かを感じている自分を物（コネクター）に置き換え表現する日比野克彦のアートコミュニケーション作品《Such Such Such》の手法などを取り入れて行う。

日時	会場	対象展示	対象作品	人数（定員）
4/29（火・祝）	多目的ホール 展示室	マルク・シャガール《サーカス》	マルク・シャガール『サーカス』より4点	20 （20）
5/18（日）	多目的ホール 展示室	培広庵コレクション　美人画の雪月花	伊藤小坡《宴の暇》、上村松園《桜可里能図》 伊東深水《薄暮》、板倉星光《蛍》 山川秀峰《安倍野》、紺谷光俊《採果図》 森川青坡《雪中二美人の図》	11 （20）
6/15（日）	多目的ホール 展示室	生誕120年 矢橋六郎とその時代	矢橋六郎《家が建つ》、《美人コンクール》、 《ポルトガルの夏》、《母子像》	16 （20）
8/24（日）	アートコミュニケーターズルーム 展示室	古墳時代から織部、そして現代へ ー土岐市美濃陶磁歴史館の名品と土岐市の寺社の文化財ー	市左衛門《神猿》 作者不明《鳴海織部向付》 作者不明《蛙付染付鵜飼図鳴き徳利》 作者不明《鉄釉蘭引》	13 （20）
10/19（日）	多目的ホール 展示室	岐阜県美術館コレクション名品選	坂倉新平《ブルーの根源-1》 篠田桃紅《遠つ代》 村井正誠《月の出》	10 （12）
11/30（日）	多目的ホール 展示室	大正・昭和‘モード’の源泉 国立美術館コレクション・ダイアローグ	「2章‘モード’の始まり」「3章‘モード’の揺籃期Ⅰ」「3章‘モード’の揺籃期Ⅱ」「4章‘モード’の分化と拡散Ⅰ」「4章‘モード’の分化と拡散Ⅱ」より20点	13 （12）
1/18（日）	多目的ホール 展示室	生誕120周年 坪内節太郎/没後130周年　牧野伊三郎	坪内節太郎 《椿 萬葉集歌》《ひらかな盛衰記 逆艫の場》《砂の花》	21 （20）
2/22（日）	多目的ホール 展示室	グラフィックデザインの曙 ー加藤孝司とシルクスクリーン	加藤孝司《おかげさまで創立95周年》 2章の1 美濃紙業所のカレンダー 2章の2 デザイン×印刷技術の競演	18 （20）



▲8月24日 アートツアー
「古墳時代から織部、そして現代へ
ー土岐市美濃陶磁歴史館の名品と土岐市の寺社の文化財ー」



▲10月19日 アートツアー
「岐阜県美術館コレクション名品選」

《Such Such Such（あんな そんな こんな）》

「作品を見て何かを感じている自分」をもの（コネクター）に置き換えて表現する、日比野克彦による体験型のアートコミュニケーション作品。

日時	会場	対象作品	関連展	人数
9/5（金）～ 10/5（日）	展示室3	奥村晃史《地上の食卓》 坂倉新平《内なる光ー地中海の朝》 田中敦子《'83B》	ふらっとぱ〜く： 見る、触れる、話す、感じる、考える	691
2/17（火）～ 3/15（日）	美術館ホール	ジャコモ・マンズー《大きな枢機卿》 ヴァレリアーノ・トルッビアーニ《錨を上げる》 アリスティド・マイヨール《地中海》	ー	104

2-2 アートコミュニケーションプロジェクト

岐阜県美術館がめざす基本理念「美とふれあい、美と会話し、美を楽しむ」の実現にむけて、共に活動するのがアートコミュニケーター（愛称：〜ながラー）である。アートから生まれるコミュニケーションを大切にし、岐阜に生きる人やテーマと結びつきながら、美術館を拠点に人と人、人と作品、人と文化をつなぐ活動に取り組む。

〜ながラーの構成

4期13名、5期24名が活動を継続。6期には26名の応募があり、書類審査、面接を経た21名を加え、4〜6期で計58名となった。主な居住地区は県内（岐阜、西濃、中濃、東濃圏域）で、他県（愛知県、三重県、群馬県、静岡県）在住者も活動している。

年齢分布は10代2名、20代7名、30代5名、40代10名、50代24名、60代10名。

主な年間スケジュール

通年　：舟の活動（「〜ながラー」自主企画）
4〜7月　：基礎ゼミ（全8回）
7〜10月　：実践ゼミ（全5回）
11/1（土）〜1/9（金）　：7期応募受付（消印有効）
11/3（月・祝）　：アートコミュニケーター7期募集イベント「〜ながラーの『舟フェス』」
12/21（日）　：アートコミュニケーター7期募集イベント「〜ながラー鳥瞰図 Vol.5」
日比野克彦（館長）、五十殿彩子（取手アートプロジェクト事務局事務局長代理/たいけん美じゅつ場VIVAディレクター）、村上恵（5期トリばァ）、二宮敏（東京藝術大学共創拠点推進機構地域コーディネータ/art venture ehimeプロジェクトマネージャー）、中島佐知子（1期ひめラー）、濱野かほる（教育普及係）、林祐子（4期〜ながラー）によるクロストーク
3/8（日）　：「湊カラー出港式」4期任期満了に伴う修了式及びアートコミュニケーター「湊カラー」に任命（12名）

活動参加人数（対面・オンラインを含む）

・美術館主催（基礎ゼミ・実践ゼミ・展覧会勉強会）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回	6	4	6	3	3	2	4	3	3	0	2	2	38
人数	101	57	107	51	27	21	32	39	28	0	30	52	545

・「〜ながラー」による自主活動（この舟のろう方式）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回	9	18	13	20	22	22	17	31	16	14	11	1	194
人数	81	116	108	119	150	125	77	180	132	75	74	9	1,246

活動参加人数合計 のべ1,791人

基礎ゼミ

活動を始める準備としてアートの役割やコミュニケーションについての理解を深める活動。

回	開催日	タイトル	講　師	人数
1	4/12（土）	「〜ながラー」のみなさん、ようこそ岐阜県美術館へ、岐阜県美術館を知る	青山訓子（学芸課長）	41
2	4/26（土）	美術館×作品×来館者×アートコミュニケーター	稲庭彩和子（国立アートリサーチセンター主任研究員）	26
3	5/10（土）	ミュージアムの特性を活かした活動とは？	伊藤達矢（東京藝術大学社会連携センター教授/センター長）	25
4	5/31（土）	きく力	西村佳哲（有限会社リビングワールド代表）	19
5	6/7（土）	舟の進め方	濱野かほる（教育普及係）	17
6	6/21（土）	会議が変われば社会が変わる	青木将幸（青木将幸ファシリテーター事務所代表）	22
7	6/28（土）	障害とはなにか、差別とはなにか マイクロアグレッションとは	川島聡（放送大学教授） 濱野かほる（教育普及係）	19
8	7/5（土）	なぜ、芸術鑑賞に対話が必要なのか	会田大也（ミュージアム・エデュケーター/山口情報芸術センター学芸普及課長）	27

実践ゼミ

基礎ゼミを終えた「〜ながラー」の学びをより深め、舟の活動で何ができるか、取り組みたい課題を考える活動。

開催日	内容	講　師	人数
7/26(土) 8/2(土)	作品の対話による鑑賞ファシリテーター入門(基礎の基礎の基礎編、展示室実習)	濱野かほる（教育普及係）	32
9/20(土)	アクセス	木下知威(東京科学大学リベラルアーツ研究教育院研究員)	16
10/11(土)	ワークショップを学ぶ	会田大也(ミュージアム・エデュケーター/山口情報芸術センター学芸普及課長)	16
10/18(土)	地域を考える	濱野かほる、藤田響（教育普及係）	12

「この舟のろう方式」から生まれた活動

「この舟のろう方式」とは、「〜ながラー」たちが自発的に開催する、新しいプロジェクトの検討と実施を行う活動である。共通のテーマやアイデアを持ち寄り、3人以上のメンバーが集まったら、企画の実現に向けて話し合いを進めていく。予め「終わり方」のデザインをしておき、結成と解散を繰り返しながら、様々な自主活動に取り組んでいく。

タイトル	舟の名称・内容	関連展	開催日	人　数	
				〜ながラー	参加者
「苗植え祭」 「あさがお祭」 「明後日朝顔『ながら』地区の『収穫祭』プレイベント」 「収穫祭」	「みんなで明後日朝顔丸」 「明後日朝顔プロジェクト」に参加し、ワークショップなどを行った。	—	6/1（日）、8/3（日）、11/3（月・祝）、11/8（土）	19	59
「しろく丸とびじゅつかんをたのしもう！絵本のよみきかせとアートたいけん」 「絵本のよみきかせ+アートたいけん『〜ながラー』といっしょにガーデン探検」 「美術館からアクティブ G へ出張しろく丸！絵本のよみきかせとアートたいけん」	「こぐまのしろく丸」 絵本や紙芝居の読み聞かせをした後、作品鑑賞や館内探検などを行った。	・第 6 回ぎふ美術展	6/22（日）、8/23（土）、10/26(日)、11/3(月・祝)、2/21（土）	10	71
「ドレスコードはナンヤローネ?」	「ドレコ・デ・ギフビ丸」 ドレスコードに合わせた装いで作品鑑賞、ワークショップを行った。	・塔本シスコの花鳥苑 ・大正・昭和 ' モード ' の源泉 国立美術館 コレクション・ダイアローグ	8/23（土）、11/3（月・祝）、2/15（日）	13	42
「かわら版 第一号」	「∞サークル丸」 展覧会担当の学芸員にインタビューし、かわら版としてフリーペーパーを発行した。	・ふらっとぱ〜く：見る、触れる、話す、感じる、考える	—	15	—
「ふらっとおはなし隊」	「ふらっとおはなし丸」 展示室内で作品を観た感想や思いを来館者と話す活動を行った。	・ふらっとぱ〜く：見る、触れる、話す、感じる、考える	9/13（土）、9/23（火・祝）、9/27（土）、10/4（土）	5	143
「みて ひらめいて つくっちゃおう！ビビビなモビール」	「感じてつくろう ビビビ丸」 キーワードから作品を選び鑑賞し、感じたことをモビールで表現した。	・ふらっとぱ〜く：見る、触れる、話す、感じる、考える ・塔本シスコの花鳥苑	9/21（日）、9/23（火・祝）、11/3（月・祝）	10	38

タイトル	舟の名称・内容	関連展	開催日	人　数	
				～ながラー	参加者
「ふらっとピアノ」	「ふらっとピアノ」 日比野克彦《WEDDING CAKE》を鑑賞し、感じたことをピアノの音で表現した。	・ふらっとぱ～く：見る、触れる、話す、感じる、考える	9/28（日）	6	30
「～着物とつながろう～KIMONO de 帯飾り」 「KIMONO de 鑑賞会～『ロマンティック・モダン』に想いをはせ～」	「つながる・KIMONO 丸」 作品を鑑賞後、着物のハギレを使って帯飾りやミニカード制作を行った。	・大正・昭和 ' モード ' の源泉 国立美術館 コレクション・ダイアローグ	11/3（月・祝）、12/14（日） 2/15（日）	8	30
「干支行灯 ネーミング総選挙」 「干支行灯公開制作&こよみっけ !!」 「こよみのよぶね 干支行灯和紙貼り / こよみっけ!!」	「こよみのよぶね 2025 丸」 干支の行灯に和紙貼り等をするワークショップを行った。	―	11/3（月・祝）、11/29（土） 11/30（日）、12/6（土） 12/7（日）	25	「干支行灯ネーミング総選挙」947 その他のイベント365

「3年目マイボート」から生まれた活動

任期満了を迎える年度に実施する「～ながラー」独自の自主活動。

タイトル	舟の名称・内容	関連展	開催日	人　数	
				～ながラー	参加者
「おしゃべり鑑賞会」	「Artie Boat」 来館者と共に所蔵作品で対話による鑑賞を行った。	・生誕120周年　坪内節太郎／没後130周年　牧野伊三郎 ・ルドンと音楽 ・見慣れない風景 ・ぎふの日本画　冬来たりなば 春遠からじ ー岐阜県ゆかりの画家が描いた花鳥ー	11/22(土)、12/21(日)、1/12(月・祝)、2/15(日)	6	59

その他の活動

タイトル	舟の名称・内容	関連展	開催日	人　数	
				～ながラー	参加者
「ふらっとぱ～くで思いっきりおしゃべり」	ふらっとぱ～くで対話による鑑賞会を実施した。	・ふらっとぱ～く：見る、触れる、話す、感じる、考える	9/5(金)、9/10(水)、9/11(木)、9/14(日)、9/21(日)、9/25(木)、9/28(日)、10/5(日)	8	68



▲8月23日 ドレスコードはナンヤローネ?



▲11月3日 みて ひらめいて つくっちゃおう！ビビビなモビール